

2012年度 (2012年4月～2013年3月)

【文化交流事業】'12年11月30日

「全国メセナネットワーク」幹事団体として全国会議
及び「江戸文化を楽しむ」を開催

全国会議の会場「駒形どぜう」にはネットワーク加盟14団体が参集。総会に先立つての当企画プログラム「江戸文化を楽しむ」には、コンゴの大学院生3名も参加され、六代目・越後屋助七氏の軽妙洒落な講演、どぜう料理、落語等、約50名の皆様に江戸文化を心ゆくまで味わっていただきました。(西田・赤澤・荒井)



【協力・支援事業】'12年11月2日

横浜駅西口五番街街路灯
LED化点灯式イベントの準備に協力

当企画「西口五番街イベント」の準備をネオゼネレーター・プロジェクト、大西一郎氏の協力を得て、ジャズバンド等音楽で賑やかに演出しました。(福井・佐藤)



【協力支援事業】'12年12月15日

コンゴ民主共和国 アカデックスプロジェクト報告会
映像と講演会イベント

於：神奈川県立地球市民あーすぶらざ

映像と講演「コンゴで私は家族に出会った」イベントに会場紹介などの協力。当企画プログラム「江戸文化を楽しむ」に参加された慶応義塾大学、長谷部葉子准教授の指導のもと、コンゴの大学院生がコンゴミュージックや映像とトークでコンゴ紹介に活躍されました。(西田・赤澤)



2013年度 (2013年4月～2014年3月)

【啓発事業】'13年10月31日

横浜の文化を語る講演会・その4
「横浜ヒストリー・横浜の時を旅する」

於：都筑民家園



近郷から移築の江戸時代の古民家「都筑民家園」を会場に作家、山崎洋子さんの講演会を実施。民家園の趣ある囲炉裏と天井の梁に秋の日差しが映え、一部は約40人の参加者が、画像と作家の目を通して語られる横浜の魅惑の歴史に陥入りました。2部はお茶をいただきながら講師を囲んで執筆のあれこれをお聞きし、参加者と双方向の活発な交流タイムとなりました。(入江・石渡)

【文化交流事業】'14年1月17日～18日

2013年度・全国メセナネットワーク全国会議
都内のアート施設見学会(17日)・総会(18日)

統廃合の学校や閉鎖の工場、倉庫など、各地で役割を終えた場所を街づくりに活用している事例を、バスと徒歩でたずねる視察見学会に参加しました。場所の特質をいかして活用されている多様な文化発信の事例を見学し、文化芸術活動のヒントやアイデアを得ることができました。(福井)

*見学会先：線路高架下の活用(秋葉原)、廃校の活用-旧練成中学校(神田)、倉庫の活用(台東蔵前)、遊休地の活用(南青山)他。

総会は、全国メセナネットワークの前幹事団体として、2012年度年次総会開催報告、2012年度決算を報告し、承認されました。加盟団体として現状報告を行い、また、地域間交流を前提とした会員団体連携事業提案に賛同、2014年度に(公財)新潟文化振興財団、(公社)企業メセナ群馬、大田まちづくり芸術支援協会(ASCA)と連携事業を実施することとなりました。(西田・永堀)



於：東京大田区フォルティエノビルIF会議室

出雲メセナ協会(島根県)／NPO法人大田まちづくり芸術支援協会(東京都)／(公社)企業メセナ協議会(東京都)／(公社)企業メセナ群馬(群馬県)／佐賀県企業メセナ協議会(佐賀県)／文化・経済フォーラム滋賀(滋賀県)／NPO法人伊達メセナ協会(北海道)／地域の文化を支援する企業と個人の会(福島県)／東海メセナ研究会(愛知県)／(公財)新潟県文化振興財団(新潟県)／(社)松本芸術文化協会(長野県)／(一般財)メセナジャパン(東京都)／メセナ八幡浜(愛媛県)／(公財)八尾市文化振興事業団(大阪府)／山口メセナ倶楽部(山口県)／NPO法人山梨メセナ協会(山梨県)／よこはま市民メセナ協会(神奈川県) *休会 熊本文化アジスト会議(熊本県)

2012年度・活動一覧 (2012年4月～2013年3月)

- 4月3日 総会
- 4月7日 理事会
- 6月20日 細川久恵オルガンコンサート 協力
- 7月13日 定例会
- 8月21日 全国メセナネットワーク会議・会場視察
- 9月12日 協力事業(西口五番街)会場視察
- 9月18日 活動日
- 9月22日 協力事業(西口五番街)準備等
- 10月4日 活動日
- 11月2日 横浜駅西口五番街街路灯 LED化点灯式イベント
- 11月12日 定例会

2013年度・活動一覧 (2013年4月～2014年3月)

- 11月30日 1部・講演会「メセナの観点から江戸文化を楽しむ」講演・落語等(於：東京駒形どぜう2F)
- 2部「全国メセナネットワーク」全国会議年次総会(3F)
- 12月15日 上映と講演会イベント「コンゴで私は家族に出会った」神奈川県立地球市民あーすぶらざ
- 1月28日 定例会
- 2月26日 定例会

2014年度・活動一覧 (2014年4月～2015年3月)

- 5月27日 定例会
- 6月24日 定例会
- 7月30日 定例会
- 8月19日 活動日
- 9月29日 定例会・都筑民家園視察
- 10月31日 横浜の文化を語る講演会 その4「山崎洋子さんが語る横浜ヒストリー!～横浜の時を旅する」
- 11月10日 定例会
- 1月17日～18日 全国メセナネットワーク(於：東京大田まちづくり芸術支援協会)
- 1月17日 アート活用見学会
- 1月18日 全国会議・総会
- 2月8日 定例会

◇福島スマイルプロジェクト参加◇幹事団体大田まちづくりから提案の、全国メセナネットワーク加盟団体連携事業として、写真家の市川勝弘氏の福島スマイルプロジェクトに賛同し、当会は参加予定。各地のアート活動の現場で笑顔を撮影し、メッセージやメールとともに笑顔を福島に届けようという主旨の連携イベント。(公財)新潟県文化振興財団、(公社)企業メセナ群馬、大田まちづくりと当会が連携。写真展は3月に羽田空港で開催される予定です。
◇都筑民家園にて2014年度 第3回都筑・遺跡公園・民家園「アート月間」オープニングに当会主催、連携協力の講演会を開催予定。(横浜の文化を語る講演会シリーズ・その5)

よこはま市民メセナ協会 Vol. 15・16

- 発行 よこはま市民メセナ協会 TEL 045-591-1536
- 表紙写真提供 都筑民家園
- 編集責任 福井経正
- 協力 駒形どぜう・都筑民家園 MALT communication
- 発行日 2014年10月1日

profile

表紙提供「都筑民家園」
近郷にあった江戸時代の民家を移築。港北ニュータウンの中にあり、地域のボランティアに支えられ、大人も子どもも楽しむ文化拠点の一つとして、四季折々、多彩な文化活動や行事に活用されています。

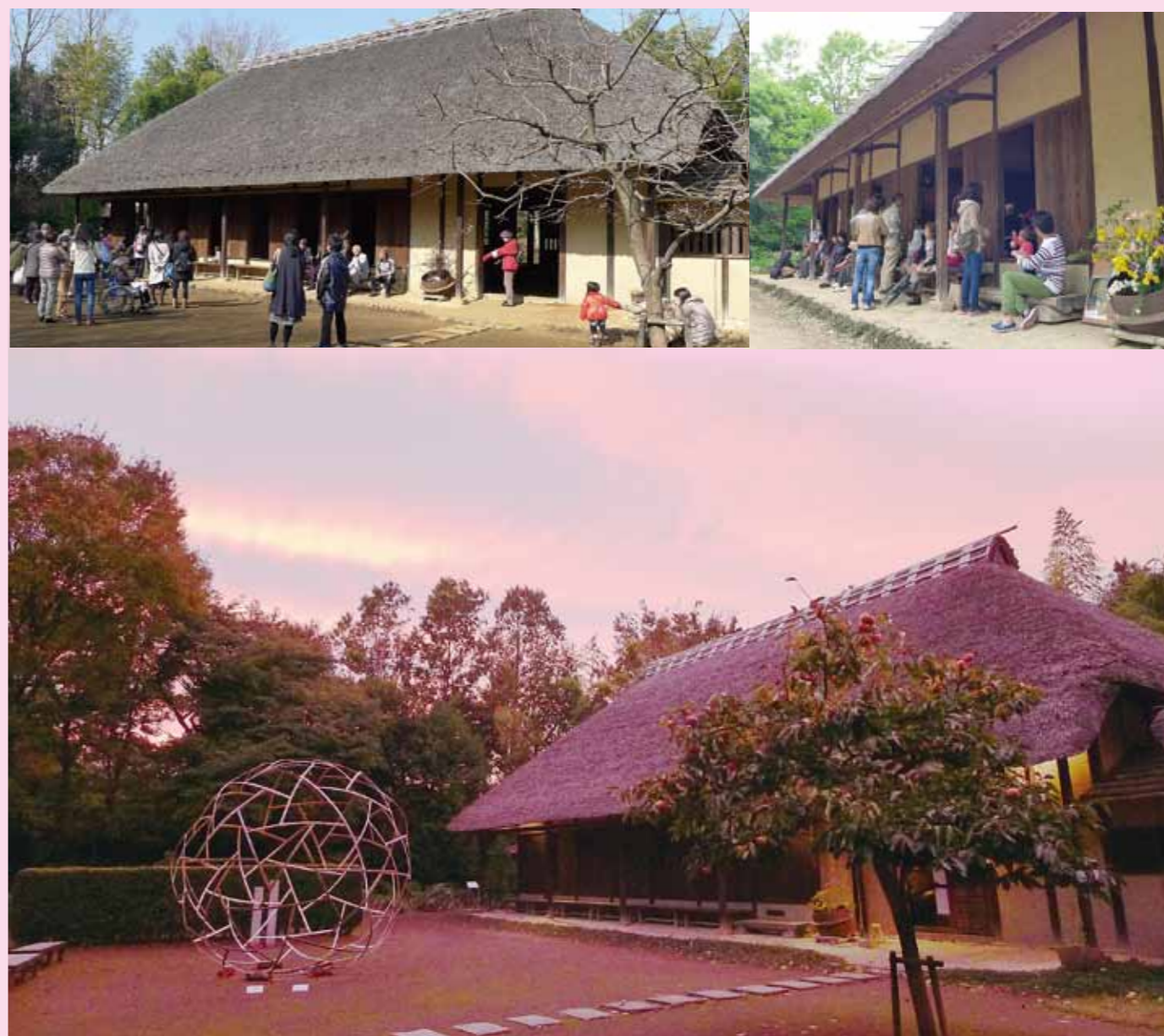
編集後記

2012年度は「全国メセナネットワーク」の幹事団体として各地の皆様との交流も一段と深まり、ウェブ等活用など新しい試みにもチャレンジしつつ、全国会議・総会を開催、事務局等つつがなく努めることができました。貴重な体験と学びは市民メセナとして意義深く、ご協力の関係各位に会員一同心より感謝申し上げます。また2013年度は、「ヨコハマの文化を語る講演会」その4として山崎洋子さんに講演いただきました。今後も文化発信シリーズとしてメセナの観点から横浜の人や芸術文化、歴史等をご紹介してまいりますのでどうぞご期待ください。 編集プロジェクト

市民メセナ

Vol.15・16
よこはま市民メセナ協会

The Yokohama Civic Association for the Arts



近郷から移築の江戸時代の古民家「都筑民家園」
2013年度 第2回 都筑・遺跡公園・民家園 アート月間連携 講演会会場

誰でもいつでも参加でき、共感し合える地域メセナ



よこはま市民メセナ協会 会長
西田 由紀子

文化溢れる心豊かな生活とは、文化芸術を日常に引き寄せ、誰もがイキイキと暮らすコミュニティの創造があってこそです。95年研究会発足、98年協会設立より今日まで、私共市民メセナの志、目指すところは貫いてここにあります。具体的には、ボランティアによる市民提案型メセナ団体として、行政や企業との協働・連携により、地域芸術文化活動の創造と促進普及を図ることを目的として、アートマネジメントセミナーによる市民プロデューサーの養成、文化交流、鑑賞事業、調査研究事業等を実施しています。現在まで16年に及ぶ事業展開を通して当会が出会っていただいた講座（啓発事業）の受講生、演劇やコンサート（鑑賞事業）や、「横浜の文化を語る講演会シリーズ」（啓発事業）等にお運びくださった沢山のお客様、更には、96年発足から参画の「全国メセナネットワーク」（文化交流事業）を通じ、北海道から九州まで各地のメセナの方々とも活発に交流させていただき、これまで数えきれないほど多くの方々ともメセナの絆を結ばせていただいております。

2012年は前年に引き続き、「全国メセナネットワーク」の幹事団体として、ネットワークの「全国会議」及び、当会企画のプログラム「江戸文化を楽しむ」を、皆様のご協力のもと11月30日東京浅草「駒形どぜう」（メセナ大賞2001地域文化賞受賞）にて開催いたしました。

東日本大震災後はじめて喜多方からの参加もあり、全国会議には各地から14団体が参加。ネットワークの今後の可能性や展望について活

発にディスカッションが展開され、地域の特徴や独自性をもって活動する各地のメセナの現状を共有、相互交流し、ネットワークとしての意義と存在をより社会に開き文化発信していく目的で、「芸術文化を通じての社会創造」がメセナの意義として共有されました。プログラム「江戸文化を楽しむ」は、駒形どぜう六代目越後屋助七氏（渡辺孝之氏）による講演「メセナの観点から江戸文化を楽しむ」、どぜう料理、落語等をコンゴの大学院生3名も含め、各地から参加の皆様に楽しんでいただき、私共にとっても、日頃の公共文化施設における事業展開とは異なる民間商業施設を活用しての事業実施体験ができました。

年間を通しては幹事団体としてネットワークの事務局を担い、全国会議の運営、ウェブ管理や会計管理等にあたり、2013年4月4日私共「よこはま市民メセナ協会」から「東京大田まちづくり芸術支援協会」に無事、幹事引継を行いました。また、横浜駅西口五番街商店会協力事業やコンゴの大学院生講演会の協力等、社会とつながる地域メセナ実感の一年でもありました。

2013年度は、「横浜の文化を語る講演会」シリーズその4として横浜在住、江戸川乱歩賞作家の山崎洋子氏による講演会「横浜の時(とき)を旅する」を江戸時代の古民家、都筑民家園にて実施（13年10月31日）。また13年度のネットワーク全国会議（於・東京大田14年1月17,18日）は年初に開催され、初日はアート施設見学会、二日目の総会では幹事団体より14年度全国メセナネットワークの新たな取り組みとして、ネットワーク会員連携事業（福島スマイルプロジェクト）の提案がなされ、当会も賛同、参加予定です。13年度は市民メセナ、地域メセナとして何をなすべきか、何ができるのかの模索と取り組みの方向性が確認できた年度でもあり、メンバー一同、芸術文化の日常化を目指して、誰でもいつでも参加でき、共感し合える地域メセナの実現を図ることに努め、同時に全国各地のメセナとの連携も大切に日々活動に邁進しております。

「全国メセナネットワーク」は、各地に設立されていた地域の文化活動を支援する団体の、組織間の情報交換と相互協力を目的として、'96年に「全国メセナ組織連絡会」として発足。'98年9月に「全国メセナネットワーク」と改組。現在は北海道から九州まで加盟18団体（休会1）のメセナ組織が地域メセナの活性化を目指し連携、毎年全国会議を開催しています。当会は発足からのメンバーとして、'01年9月、'11年10月の2回にわたって、横浜で全国会議を開催。'12年も幹事団体（代表幹事 当会会長）として東京で全国会議を開催。

広瀬川アート散歩スケッチ会について

前橋西ロータリークラブと公益社団法人企業メセナ群馬の多くの会員が参加して昨年（2013年）から実施された「広瀬川アート散歩・スケッチ大会」を紹介させていただきます。県都前橋の中心市街地の中央を豊かに流れる広瀬川、市民に親しまれ愛されているその川辺に多くの市民が集いスケッチを楽しむ会です。そこには講師として市内在住の画家10人が直接参加者の相談に乗り教授し講評も行います。作品は、市内の「広瀬川美術館」に展示され昨秋オープンした市立の「アーツ前橋」で市民と関係者との交流会を開く予定です。本年は10月18日（土）に開催が予定され、参加見込みは、昨年約の300人で参加費は無料。企画と運営は「広瀬川倶楽部」が実行委員会を主催し、共催は前橋市と市内の六つの全ロータリークラブで、市内の有力企業と多くの市民が協賛し活動資金を拠出しています。

「広瀬川倶楽部」は、まちづくりは市民が自ら関わることを願い、行政や他の社会組織などと協力し私たちの住む「まち」を魅力あるものにしてほしいと考えています。生活環境を良くするために我々市民の考え方と行動によって改善されなければならないと考えています。住民が、まちづくりの担い手であることを自覚し率先して働きたいと思いたい任意の組織として2013年に発足しました。メンバーは、温かみのある共同体意識が強い仲良しの集まりではあるが異端の他者を積極的に受け入れたいと考えています。私たちの住む「まち」が、自由で開放的で知的関心が強く、そして社会貢献への意識があり、そこに自己を実現しビジネスのチャンスもある地域づくりを「広瀬川倶楽部」は願い、これからも地味な活動を続けたいのです。なお、「全国メセナネットワーク」をリードする「よこはま市民メセナ協会」は設立され16年、文化芸術こそが、価値を創造する都市の基本であるとの硬い理念の下に展開されている多様な活動に私たち「企業メセナ群馬」は強い影響をうけております。

公益社団法人 企業メセナ群馬 専務理事
立教大学院社会デザイン学 MBA 竹内 嘉一



メセナの観点から江戸文化を楽しむ 〈メセナ全国大会をお手伝いして〉



企業は利益を確保して社員を豊かにし、税金を支払って国や地方に貢献することが大きな役目の一つであると思います。一方企業の社会的責任としては、その企業に出来る文化活動を地域社会の方々に示したり残すことも大事な仕事の一つであると思います。因みに私共は創業241年を迎え、どぜう料理一筋に浅草駒形で、六代に亘って店を守ってまいりました。私は元アサヒビールの社長故・樋口廣太郎氏から、企業がその仕事を通じて一般社会に対して文化的活動を行うことがメセナであると教わりました。先代の五代目は、江戸文化に関する興味が深く、歌舞伎はもとより、書画・工芸や文芸を好み、初代市川猿翁さんや新派の花柳章太郎さんなど役者さん方、唄家の桂文楽師匠ともお付き合いがあり、ことに作家で俳人の久保田万太郎先生とは親しい間柄でした。先代は年間に総額を決めて、店で文化活動をす



駒形どぜう六代目 越後屋助七



ることが、長く続いたこの店の大切な役目であると、常日頃申しておりました。そんな影響を受けて、私も昭和47年に渋谷にどぜう屋を出した年から、江戸からの良さをわかっていただけるイベントとして「どぜう寄席」を2ヶ月一度開催、更に、今の文化の流れを皆様と学ぶ場として、時代の流れに先立っている方々をお招きして3ヵ月に一度「どぜうサロン」を開催し好評を得ておりました。本店でも地下の店舗を利用して江戸学をお客様と共に学ぶどぜう（道場）に掛けて、「江戸文化道場」を隔月に開催し、江戸の工芸、芸能、文化論の三つの部門から専門家の方々をお招きして、約100名の会員様にご講義いただいております。今年の10月には、第181回を迎えることになります。また、30年前の昭和58年からお客様と店との交流を文章化、小冊子「どぜう往来」として季刊の発行を続け118号になっております。幸いにも、2001年には創業200年の祝いを行いました年に、皆様のアドバイスを受けて（現・公社）企業メセナ協議会のメセナ賞への申請を行いましたところ、思いがけずにも「2001年メセナ大賞・地域文化賞」を受賞する光栄に浴しました。私どもは賞を得るために文化活動を続けていたのではなく、一般のお客様にどぜう屋を取り巻く江戸時代から伝わる文化や伝統をお話ししたり、文章として残してきた結果いただいた賞と心より感謝しております。昨年よこはま市民メセナ協会の西田様よりお話

があつて「全国メセナネットワーク年次総会」会場を本店でお引き受けいたしました。当日は、総会に先立ち、江戸時代から続くどぜう料理を召し上がっていただいた後に、私どものメセナ活動の心境をお話しし、更に江戸から続く寄席芸人の代表として、落語家蝶花楼馬楽師匠の一席を楽しんでいただいた次第です。「全国メセナネットワーク」の所属団体の皆様の他にメセナ関係の先生方やアフリカ・コンゴからの留学生も混じって大変和やかに賑やかな場となりました。企業の文化活動は、勿論主催する企業に余裕が必要ではありますが、しかしあまりにPRの為と云う考えで行うのではなく、その文化の良さを広めたり、伝承させることを目的として根気強く行う事が必要と考えています。私共も、次の当主が店を愛し、お客様を大切に、私共の店が誕生した江戸時代の文化を理解して、この店の中で文化活動を継続してもらうことを願っております。



知れば知るほどドラマチックな横浜

作家 山崎 洋子

昨年の秋、都筑民家園にて「横浜の時を旅する」と題した講演をさせていただきました。横浜は観光地ですから、毎年、おびたしい数の人が訪れます。赤レンガ倉庫、大桟橋、元町などを巡り、中華街で食事をして、みなとみらいの夜景にうっとり……観どころ、遊びどころがいっぱいです。でも、それだけではもったいない。「観る」「遊ぶ」に、この街の歴史を「知る」が加われば、おもしろさは何倍にもなります。日本の開国という一大転換期に、砂州上の小さな村が、突如として国際都市に生まれ変わり、日本の玄関口になったのです。冒険者の都、夢の楼閣の誕生です。それだけでも奇跡のような話ですが、この街はその後、慶応二年の大火、関東大震災、横浜大空襲という大厄災に見舞われ、その都度、中心部が壊滅状態になります。そこからどうやって這い上がったのか。何度潰されても甦るパワーはどこからくるの

か。私はまず、横浜の人々にそれを知っていただきたいのです。そして、他所からここを訪れる人々に、誇りを持って語っていただきたいのです。もちろん、横浜には開港以前から素晴らしい歴史があります。都筑民家園のすぐ近くには横浜歴史博物館があり、そこではこの地域に残る、古代からの興味深い歴史・文化を知ることができます。私もこの講演で、「狼信仰」の話を少しさせていただきます。それはなにかって？ ぜひ調べてみてください。横浜との関連を軸にして！「よこはま市民メセナ協会」が、こういう時間を、こういう場所ですべてくださったことを心から感謝しております。講演後、いらしてくださいました皆さんと、くつろいだお喋りができたことも嬉しい思い出になりました。またぜひ、機会がありますように！



1986年、第32回江戸川乱歩賞を「花園の迷宮」で受賞。小説家としてデビュー。横浜を舞台とした著作が多い。舞台の脚本・演出も手がける。2010年、地域放送文化賞（NHK主催）受賞。近著「横浜唐人お吉異聞」（講談社2011）「横浜の時を旅する—ホテルニューグランドの魔法」（春風社2011）

